

視神経脊髄炎スペクトラム障害の治療のために受診中あるいは受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター眼科では、**上記の病気で受診された方の検体や診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております**。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】
「視神経炎を発症した AQP4 抗体陽性 NMOSD に対する新規生物学的製剤の治療成績」

【研究の目的】
視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）は主に抗 AQP4 抗体（自己抗体）陽性の自己免疫性中枢神経疾患であり、不可逆的な後遺症を残します。急性期治療としてはステロイドパルス療法(IVMP)が現在も基本ですが、維持療法では従来の生物学的製剤では再発や副作用の出現が懸念されていました。近年では他に複数の新規生物学的製剤が登場し、治療の選択肢が拡大しています。しかし、実臨床では治療効果を検証した報告が少ないため、今回、当院で治療を行った抗 AQP4 抗体陽性 NMOSD（視神経炎併発） 8 症例を対象に新規生物学的製剤の効果を検討し、今後の治療戦略の一助と致します。

【対象となる方】
視神経脊髄炎スペクトラム障害（視神経炎併発、且つ、AQP4 抗体陽性）の患者さんで、西暦 2019 年 12 月から 2026 年 6 月の間に眼科を受診し（脳神経内科併診を含む）新規生物学的製剤による治療を受けた方。

【使用する診療情報】
使用する診療情報は以下のとおりです。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。
カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（視力・視野検査、血液検査、画像検査）

【研究期間と参加予定人数】
本研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日 2026 年 8 月 4 日から 2027 年 12 月 31 日まで実施され、8 名の患者さんにご協力頂く予定です。

【個人情報の保護】
利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除して使用いたします。収集したデータは、個人が特定できないように通し番号などで付記したのち解析を行います。また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【データの保管】
この臨床研究によって得られたデータは、鍵やパスワードなどで保護し、第三者へ漏洩することがないよう厳重保管され、研究の中止あるいは終了後 5 年または最終公表 3 年のいずれか遅い日まで保管されたのち、適切に廃棄されます。

【結果の公表】
この研究の研究成果は日本神経眼科学会総会で発表予定および学術雑誌（現時点では未定）へ投稿予定です。その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】
獨協医科大学埼玉医療センター 眼科 町田 繁樹（主任教授、病院長）

【問い合わせ先】
埼玉県越谷市南越谷 2－1－50
獨協医科大学埼玉医療センター 眼科 担当者：伊藤 大（助教）
電話番号：048-965-8659（医局直通）
対応時間：（平日）9 時～17 時

以上